

2011.5/15(日)、16(月) 数寄屋研究所心傳庵 藤五郎

京都・嵯峨広沢池 春秋庵の茶室増築工事の現場勉強会のご案内

消滅しつつある伝統構法の再生の取り組みが各所で行われていますが、当会でも熟練伝統技能者の技のノウハウを学び、それを伝統構法再生の一般解の指針につなげるための取り組みを行っています。このたび、当会の耐震研究の指導を継続に受けている数寄屋研究所心傳庵 木下孝一棟梁の茶室増築工事の現場勉強会を、施主の宗教法人世界救世教の特別なご好意により、開催できることになりました。

平安文化の面影を残す嵯峨の地での茶室増築は、昭和20年に主屋を建てた華北交通総裁の宇佐美寛爾氏とその建物を譲り受けた世界救世教の岡田茂吉 明主さまの悲願であり、両氏の想いを66年目に実現する取り組みとなりました。

木下棟梁は増築に際しては、日本の木造伝統文化を蘇らせて今後何百年にわたって継承・発展させるための工法を研究・開発し、導入しています。その成果は次の現場の東京での銀閣寺東求堂の写しの建設にも反映される予定です。ただ、伝統構法の性能の検証は実験や数字では困難であり、「現場を見て検証する目を養う」ことが伝統文化の再生の一歩であるとの考えから、棟上げの段階で公開勉強会を開催致します。是非、多くの皆様にご参加頂き、伝統構法の再生と性能検証手法を勉強していきたいと思っております。



勉強会会場
京都・広沢池の東岸にある
世界救世教の平安郷
(写真：世界救世教HPより)

公開日時 5月15日(日)、16日(月) 各々午前9時～午後4時

会場 宗教法人世界救世教 平安郷(へいあんきょう)内
京都市右京区嵯峨広沢池の東端(下図)

建物概要 木造伝統構法の既存数寄屋建築に増築する茶室(約20坪)の新築工事。竣工8月予定。

<既存建物> 工期:昭和16年～20年2月。施主:華北交通総裁の宇佐美寛爾氏、設計:黒岩賢次氏。
その後、同建物を世界救世教が昭和27年に入手し、春秋庵と命名する。約90坪。

勉強方法 各自、ご迷惑を掛けないように現場を拝見させて頂き、増築工事の理念や伝統構法再生に向けた棟梁の教えを黙視の中で学び取って下さい。なお、現場で仕事中の職人さんへの質問はご遠慮下さい。両日共に午前9時からの見学がお勧めです。

参加方法 当会は、現場にご迷惑をかけないように、まとめて下記の要領で見学・勉強いたします。

集合時間・場所:5/15(日)の午前8時50分に会場の平安郷入口のガードマン詰所前に集合。
個々に参加される方は、ガードマン詰所で現場見学の手続きをして下さい。

参加費 5/15午前9時の見学コース参加者600円(拝観謝礼)。それ以外の日時の参加者は会場が世界救世教の聖地のため、入口ガードマン詰所で拝観のお礼の志を納めて下さい。

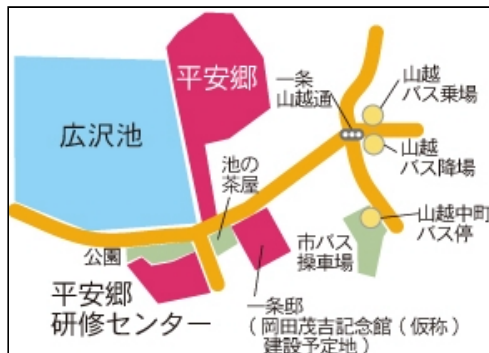
参加申込方法 5月14日(土)までに、お名前と所属、連絡先の電話、FAX番号と見学日時(予定)を明記の上、下記までお申し込み下さい。見学先の駐車場は利用できません。

参加申込先 関西木造住文化研究会
TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725

E-mail info@karth.sakura.ne.jp
京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町 632

会場案内図・交通アクセス(右図)

バス停「山越」から信号を渡り西へ徒歩約5分、または、阪急嵐山駅またはJR花園駅下車、タクシー約15分
タイトルの「藤五郎」とは、千利休の出入の大工さんの名前で、木下棟梁は表千家の家元から藤五郎の銘の入った茶杓を授かりました。



集合場所:上図 印 (世界救世教平安郷HPより)